

富山市入札公告第58号

入札公告

次のとおり建設工事の条件付き一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6第1項の規定により、公告する。なお、この公告に掲げるもののほか、この入札に必要な事項については、建設工事の条件付き一般競争入札における各入札に共通して必要となる事項について（平成23年富山市入札公告第130号）による。

平成29年6月12日

富山市長 森 雅 志

工 事 名	天神橋架替工事
工 事 場 所	富山市婦中町下条地内
工事完成期限	平成30年3月15日
工 事 概 要	プレテンション桁架設工 N = 6本 床版・横組工 N = 1式 橋梁付属物工 N = 1式 場所打杭工 N = 8本 橋台工 N = 2基 構造物取壊工 N = 1式 道路復旧工 N = 1式 用水復旧工 N = 1式 仮設工 N = 1式
入 札 方 式	条件付き一般競争入札 総合評価落札方式（簡易型Aタイプ） この入札は、入札価格と入札価格以外の技術的な要素を総合的に評価する総合評価落札方式による。
予 定 価 格	60,520,000円 （消費税及び地方消費税額を含まない。）
審 査 基 準 日	入札参加資格の審査は、平成29年6月23日現在の

		事実をもって行うものとする。
入 札 参 加 資 格	地 域	主たる営業所が富山市の区域内にあること。
	業 種	土木
	総合点数等	入札参加資格決定通知書で通知された土木工事の総合点数が1,050点以上であること。
	施工実績	平成14年4月1日以降に官公庁等発注の土木一式工事の元請として、この工事の予定価格の3割以上の金額の施工実績があること。
	配置技術者	<p>1 1級土木施工管理技士と同等の資格を有する者（以下「1級土木施工管理技士等」という。）を配置できること。ただし、契約金額が3,500万円以上となる場合は、専任で配置することとし、その配置技術者は、建設業法第7条第2号及び第15条第2号に規定する営業所ごとに専任で配置する技術者（以下「営業所専任技術者」といい、当該工事の業種以外の業種の営業所専任技術者を含む。）でないこと。</p> <p>2 4,000万円以上の下請契約を締結して工事を施工する場合は、監理技術者（監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者をいう。）の資格を有する者を専任で配置することとし、その配置技術者は、営業所専任技術者でないこと。</p> <p>3 契約時において、1の前段の配置技術者は他の工事の専任技術者でないこととし、また、1のただし書及び2に規定する配置技術者は他の工事に配置されている者でないこと。ただし、1の規定による配置技術者が平成26年2月3日付け国土建第272号「建設工事の技術者の専任等に係る取扱いについて（改正）」により、建設業法施行令第27条第2</p>

	項の当面の取扱いの適用（以下「専任等の当面の取扱いの適用」という。）を受けることができる場合は、この限りでない。
調査基準 価格を下 回る価格 で契約を 締結する 場合の配 置技術者	<p>1 契約金額が3,500万円未満の場合 1級土木施工管理技士等を専任で配置することとし、その配置技術者は、営業所専任技術者でないこと。なお、専任等の当面の取扱いの適用については認めない。</p> <p>2 契約金額が3,500万円以上の場合 1級土木施工管理技士等を専任で2名配置することとし、いずれの配置技術者も、営業所専任技術者でないこと。なお、専任等の当面の取扱いの適用については認めない。</p>
その他	4,000万円以上の下請契約を締結して工事を施工する場合は、土木一式工事についての特定建設業の許可を受けていること。
入札及び契約 を担当する課	富山市財務部契約課 FAX番号076-431-7665
契約条項等の 閲覧期間	平成29年6月12日から同月23日まで (日曜日、土曜日及び休日を除く。)
設計図書に対 する質問期間	平成29年6月12日から同月19日まで
質問に対する 回答期限	平成29年6月21日
総合評価落札 方式に関する 事項	<p>(1) 総合評価の方法</p> <p>ア 総合評価の方法は、次の式により算出して得られる数値（以下「評価値」という。）をもって行うものとする。</p> <p>評価値＝技術評価点÷入札価格 ＝（標準点＋技術加算点）÷入札価格</p>

(注) 入札価格の単位は、100万円とし、評価値の有効数字は、5桁(6桁目の数字を四捨五入)とする。

イ 標準点とは、100点を満点とし、要求する要件を最低限満たしている技術提案等について与える点数をいう。

ウ 技術加算点とは、20点を満点とし、(2)の評価項目及び評価基準により算出される点数の合計(165点満点)を、次の式により20点満点に換算した点数をいう。なお、技術加算点は、小数第三位を四捨五入し、小数第二位止めとする。

$$\text{技術加算点} = \frac{\text{各企業の点数} \times \text{技術加算点の満点}}{\text{配点点数の満点}}$$

(2) 評価項目及び評価基準

ア 簡易な施工計画

	課 題	優	標準	不可	配点	備 考
簡 易 な 施 工 計 画	工程計画表の作成	10 点/項目	5 点/項目	0 点/項目	50点	5項目×10点=50点
	コスト縮減のための工夫					
	施工時における安全対策等の周辺環境への配慮(2項目)					
	地下埋設物等への配慮					

イ 企業の施工能力

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考
企 業 の 施 工 能 力	過去一定期間の橋梁上部工工事(新設又は架替工事)の実績の有無	あり	10点	(1) 一定期間とは、平成25年4月1日から申請日までの期間をいう。 (2) 工事の実績の有無は、一定期間に完成した工事の有無とする。 (3) 契約額が300万円未満の工事は、実績と認めない。 (4) 市発注工事の実績がない場合は、国土交通省、農林水産省若しくは林野庁(以下、これらを総称して「国」という。)又は県が発注した市内工事を認める。 この場合、期間については、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとし、契約額が500万円未満の工事は実績と認めない。
	(原則として市発注工事)	なし	0点	

工事成績	過去一定期間の工事成績評定点の平均点(注1) (原則として市発注工事)	80点以上	15点	(1)平成25年度から平成28年度までの土木工事の工事成績を平均したものとす。 (2)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。この場合、期間については、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとする。
		80点未満 75点以上	10点	
		75点未満 70点以上	5点	
		70点未満	0点	
優良表彰	過去一定期間に、同種の優良工事表彰の有無	知事賞・部長賞・最優秀賞	10点	土木一式工事に関して、平成27年度又は平成28年度に富山県建設優良工事等(注2)の表彰を受けたことがあるものとする。 (ただし、最優秀賞、優秀賞及び良賞は、富山市内で施工された工事に限る。)
		優秀賞・良賞	5点	
		なし	0点	
配点計			35点	

注1 工事成績評定点の平均点は、小数第一位を四捨五入して得られる整数により加点する。

注2 富山県建設優良工事等とは、富山県建設優良工事(土木部又は農林水産部)、富山土木センター管内優良土木工事、立山土木事務所管内優良土木工事又は富山農林振興センターの表彰である。

ウ 配置予定技術者の能力

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考
配置予定技術者の能力	施工実績 主任(監理)技術者としての過去一定期間の橋梁上部工事(新設又は架替工事)の実績の有無 (原則として市発注工事とし、低入札に伴う担当技術者としての工事実績は対象外とする。)	あり	10点	(1)一定期間とは、平成25年4月1日から申請日までの期間をいう。 (2)工事の実績の有無は、一定期間に完成した工事の有無とする。 (3)契約額が300万円未満の工事は、実績と認めない。 (4)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。 この場合、期間については、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとし、契約額が500万円未満の工事は実績と認めない。
		なし	0点	
工事成績	主任(監理)技術者としての過去一定期間の同種工事の成績評定点の平均点(注1) (原則として市発注工事とし、低入札に伴う担当技術者としての工事実績は対象外とする。)	75点以上	10点	(1)平成25年度から平成28年度までの土木工事の工事成績を平均したものとす。 (2)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。この場合、期間については、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとする。
		75点未満 70点以上	5点	
		70点未満	0点	
主任(監理)技術者の保有する資格		1級国家資格者又は技術士	10点	1級国家資格者と同等の能力を有すると認められるもの(国土交通大臣特別認定者)を含む。
		上記資格なし	0点	
配点計			30点	

注1 工事成績評定点の平均点は、小数第一位を四捨五入して得られる整数により加点する。
 ※申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について様式4及び様式5の提出を認める。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点する。

エ 企業の地域性・社会性

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考
企業 の 所在地		市内	5点	
		市外	0点	
地域性・ 社会性	災害協定 への参加の有無	あり	10点	平成29、30年度の入札参加資格審査申請時における災害協定への参加の有無をもって評価する。 ※平成29、30年度の入札参加資格審査申請時以降に新たに欄外の協定に参加した者については、当該協定に参加している証明書を提出することにより、加点するものとする。
		なし	0点	
除雪協力	過去2か年度の 受託実績の有無	道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(2年)	20点	過去2か年度とは、入札公告日の属する年度及びその前年度とする。(ただし、入札公告日が1月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前2か年度とする。)
		道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年)及び道路又は歩道除雪の操作者の提供(1年)	15点	
		道路又は歩道除雪の操作者の提供(2年)	10点	
		道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供(1年)		
		道路又は歩道除雪の操作者の提供(1年)	5点	
		なし	0点	
		なし	0点	
浸水対策 協力	入札公告日の属する年度の前年度における排水ポンプ車運転作業業務の出動実績の有無	あり	10点	
		なし	0点	
チーム富山市	温暖化防止に取り組む「チーム富山市」の参加	参加	5点	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」への参加の有無
		不参加	0点	
配点計			50点	

- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山市建設業協会)
- ・災害時における応急活動の協力に関する協定(富山市管工事(協))
- ・大規模災害における建築物等の解体撤去の実施に関する協定((社)富山県構造物解体協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山市電業協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定((社)斜面防災対策技術協会富山支部)

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山県地質調査業協会) ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山造園業協同組合) ・災害時等における廃棄物の処理に関する協定(富山市一般廃棄物収集運搬業協会)
提出書類	<p>入札の際、建設工事の条件付き一般競争入札における各入札に共通して必要となる事項について4（1）ア、イ、ウ、エ及びオに掲げる提出書類のほか、富山市公共工事総合評価落札方式試行要領の技術資料様式第2号の1、第2号の2、第3号及び第4号に表紙（技術資料様式第6号）をつけて、電子入札システムで提出すること。</p> <p>※技術資料様式第3号及び技術資料様式第4号の「施工実績」について、CORINSに未登録の場合は、契約書等の写しを入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで富山市契約課へ提出すること。</p>
入札の方法	富山市電子入札システムによる電子入札
入札書の受付締切日時	平成29年6月23日午後5時00分
開札日時及び場所	平成29年6月27日午前9時30分から 富山市役所東館4階入札室
調査基準価格	有（失格基準を適用する。）
落札者の決定方法	<p>（1）落札者は、次の要件を満たす入札参加者のうち、評価値が最も高い者とする。</p> <p>ア 入札価格が予定価格を超えていないこと。</p> <p>イ 評価値が、次の式により算出して得られる基準評価値を下回っていないこと。</p> <p style="text-align: center;">基準評価値 = 100点（標準点） ÷ 予定価格 (単位：百万円)</p> <p>（2）評価値の最も高い者が2者以上あるときは、入札価格が低い者を落札者とする。</p> <p>（3）落札者となるべき者の入札価格が調査基準価格を下回る場合には（1）及び（2）の規定にかか</p>

	<p>わらず、富山市低入札価格調査制度実施要領に基づく審査を行い、落札者を決定する。</p> <p>(4) 総合評価方式の試行対象工事であるこの入札については、入札心得のうち、落札者の決定に関する規定は、適用しない。</p>
工 事 代 金 支 払 条 件	<p>前金払 有</p> <p>部分払 有</p>
そ の 他	<p>(1) 入札参加申請書その他の入札に参加するに当たって提出を求める書類（以下「申請書等」という。）の作成に要する費用は、申請者の負担とする。</p> <p>(2) 提出された申請書等は、当該工事に係る入札以外の目的には使用しない。</p> <p>(3) 提出された申請書等は、返却しない。申請書等の差替えは認めない。</p>

天神橋架替工事仕様書
(「簡易な施工計画」の課題の趣旨、留意事項等)

○総合評価方式に関する事項

(1)「簡易な施工計画」における課題の設定の趣旨、留意事項等

ア 課題

- ① 工程計画表の作成
- ② コスト縮減のための工夫
- ③ 施工時における安全対策等の周辺環境への配慮
- ④ 地下埋設物等への配慮

イ 課題設定の趣旨

①工程計画表の作成

- ・本工事は、牛ヶ首用水が減水する期間である9月から3月までの間に、既設橋梁の撤去、基礎工事、橋台工事、上部工工事、付属物工事及び用水、道路の復旧工事を完了する必要があることから、それらを反映した工程計画書を作成し、適切な工程管理が求められる。

②コスト縮減のための工夫

- ・橋梁は長期間にわたり供用されることから、架け替えた橋梁の維持管理コストの低減に関する工夫も求められる。

③施工時における安全対策等の周辺環境への配慮

- ・本橋梁は、朝日小学校への主要アクセス路線上にあることから、架け替え施工中は歩行者用の仮橋を架設し、う回路を整備する計画がある。また、通学路であることや県道に近接していることから、安全に通行できるよう配慮が必要である。
- ・朝日小学校に直近していることから、騒音や振動を低減する工夫が必要である。

④地下埋設物等への配慮

- ・橋梁の近傍には、富山大学附属病院から排出される汚水が流れている重要な下水道管が埋設されていることから、既設橋台の撤去や基礎工事等において、損傷を与えないよう、適切に施工計画をたて、工事を行う必要がある。

ウ 記載にあたっての前提条件

① 工程計画表の作成

- ・本工事は牛ヶ首用水が減水する期間である 9 月から 3 月までの間に完成する必要がある。なお、用水は完全に止めることはできず、用水管理者と協議した結果、仮設水路には流下能力 $Q=3.58\text{m}^3/\text{s}$ を確保する必要がある。
- ・本工事の杭施工時等において支障となる北陸電力及び N T T の電柱及び架空線の移設工事が予定されている。移設は平成 29 年 7 月、復旧は平成 30 年 3 月を予定している。また、既設橋梁取壊し時等において支障となる水道管、下部工施工時等において支障となる下水道管の移設工事も予定されている。移設は平成 29 年 8 月、復旧は平成 30 年 2 月を予定している。復旧時は本工事の舗装工前に実施できるよう、工程調整を行う必要がある。
- ・本工事の施工箇所は、友坂遺跡の埋蔵文化財包蔵地に指定されていることから、富山市埋蔵文化財センターと協議した結果、既設橋梁の下部工を撤去する際に同センターの立会調査を実施する予定としている。このことから、調査次第では工程に影響を与える可能性がある。
- ・本工事の施工箇所の下流側では富山県富山農林振興センターが発注する（仮）牛ヶ首用水路（第 4 工区）工事が発注される予定となっている。水路内での工事となることから、用水の切りまわし方法、実施時期について協議する必要がある、工程に影響を与える可能性がある。
- ・小学校に近接していることから、小学校行事が行われる場合など、重機の搬入や騒音、振動を低減する必要がある場合は、施工が制限され、工程に影響を与える可能性がある。
- ・既設橋梁の取壊し数量は想定である。実際には異なることが想定される。

② コスト縮減のための工夫

- ・橋の供用期間全体にわたり、点検・診断・措置のメンテナンスサイクルを実施していくことが重要であるが、措置の機会を減らすことがランニングコストの縮減につながることから、施工後の維持管理に対して有益となる対策が必要である。

③ 施工時における安全対策等の周辺環境への配慮

- ・本橋梁は小学校の通学路に指定されていることから、工事期間中は生徒が安全に通行できるよう、仮橋及び仮通路を整備する必要がある。
- ・小学校が近接していることから、騒音や振動を低減する必要がある。
- ・主要地方道富山・庄川線に近接していることから、工事期間中は安全に通行できるよう配慮する必要がある。
- ・左岸の杭施工時等において、重機や資材の搬入路として、小学校敷地を利用することで小学校の同意を得ている。
- ・施工に必要な迂回路、ヤードとして、左岸側の畑の全て、右岸側の畑及び駐車場の一部を借地することで所有者の同意を得ている。

④ 地下埋設物等への配慮

- ・下水道管が牛ヶ首用水を下越しされており、既設橋梁に近接している。下水道管に損傷を与えないよう、施工に注意する必要がある。

エ 各課題に対する回答数及び配点

課 題	回答数		配 点	
①工程計画表の作成	1 項目	5 項目	5 項目×10 点 =50 点	50 点
②コスト縮減のための工夫	1 項目			
③施工時における安全対策等の 周辺環境への配慮	2 項目			
④地下埋設物等への配慮	1 項目			

オ 記載にあたっての留意点

- ・①、②及び④の課題は、ひとつの課題に対して回答する項目数は 1 項目、③の課題に対して 2 項目回答すること。
- ・③の課題の回答数は上記項目を限度とし、改題に対して指定した項目数を超える回答があった場合は、すべてを無効とする。
- ・①の課題は、簡易な工程表を作成の上、工程上の工夫を箇条書きで簡潔にまとめること。
- ・②～④の課題は各項目の記載にあたっては、箇条書きで簡潔にまとめること。

カ 落札者決定基準

①配点及び加点方法

判 定	項目ごとの配点	配 点 の 合 計	
優	10 点	5 個×10 点	50 点
標 準	5 点		
不 可	0 点		

②評価基準

課 題	評 価 基 準	
① 工程計画表の作成	各工種の特長、周辺環境及び関連工事を理解したうえで、工程上の課題が整理されており、工程短縮に対する工夫がされていること。	優
		標準
		不可
② コスト削減のための工夫	橋梁が供されている間のランニングコストの低減に向けた提案や創意工夫がされていること。	優
		標準
		不可
③ 施工時における安全対策等の周辺環境への配慮	<p>小学校と県道をつなぐ主要な通学路であることから、第三者に対する適切な安全対策が提案されていること。</p> <p>小学校敷地に隣接して工事がおこなわれること、敷地の一部を搬入路として利用することなどから、騒音や振動を低減する工夫がされていること。</p>	優
		標準
		不可
④ 地下埋設物等への配慮	直近に地下埋設物があることから、埋設物に損傷を与えずに施工する方法の工夫がされていること。	優
		標準
		不可

※金銭的負担の大きい物理的対策等による工夫については、評価しないことを原則とする。

(2)総合評価方式に係る事項に関する質問及び回答

ア 質問の受付期間及び回答 公告のとおり

イ 当該質問及び回答が他の者に影響を及ぼすと認めるときは、その概要を富山市財務部契約課ホームページにて公表する。

簡易な施工計画

(施工上の課題に対する技術的所見)

工事名： _____

会社名： _____

■施工上の課題	①コスト削減のための工夫 ②施工時における安全対策等の周辺環境への配慮（2項目） ③地下埋設物等への配慮
---------	--

項目（課題）	具体的な施工計画

- 注) 1 簡易な施工計画は本様式を用いて、1枚で簡潔に記述してください。
2 必要に応じて構造図等を添付してください（枚数制限はありません。）
（構造図等を添付される場合の提出方法は、事前に富山市契約課に問い合わせしてください。）

企業の施工能力及び地域性・社会性(土木工事)

工事名: _____ 会社名: _____

同 種 工 事 の 施 工 実 績	工事名		
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	契約金額(円)		
	受注 形態	単体・共同企業体の別	
		出資比率	
	工事概要		
CORINS登録の有無		有(CORINS登録番号) ・ 無	

優良 表彰	富山県建設優良工事等の表彰の有無	有(受賞年度・賞名・工事名) ・ 無
----------	------------------	--------------------

除雪 協力	対象年度において、富山市と除雪業務について右の内容の契約をしている場合は、該当する〇印欄に〇を記入してください。 ※ 稼動実績の有無は問いません。 ※ 各年度の a または b を選択 (a、b 両方の実績がある場合は a を選択) してください。	対象年度	契約内容	数値	〇印欄
		入札公告日の属する年度(入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前年度)	a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。	10	
			b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	
		入札公告日の属する年度の前年度(入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前々年度)	a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。	10	
			b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	

災害 協力	該当する場合は、〇印欄に〇を記入してください。	富山市と「災害時における応急対策業務に関する協定」等を締結している協会等(富山市建設業協会、富山市管工事協同組合、富山県構造物解体協会、富山市電業協会、社団法人斜面防災対策技術協会富山支部、富山県地質調査業協会、富山造園業協同組合、富山市一般廃棄物収集運搬業協会)の会員であること。	10	
----------	-------------------------	---	----	--

浸水 対策 協力	該当する場合は、〇印欄に〇を記入してください。	入札公告日の属する年度の前年度において、排水ポンプ車運転作業業務(上下水道局においては、雨水幹線巡視業務又は低地排水業務)の出動実績があること。	10	
----------------	-------------------------	--	----	--

チーム 富山市	該当する場合は、〇印欄に〇を記入してください。	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」に参加していること。	5	
------------	-------------------------	---	---	--

- 注) 1 契約金額については、最終請負金額(税込み)を記載してください。
 2 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINS に未登録の場合は、契約書、一般図等、施工実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。
 FAX:076-431-7665
 3 除雪協力については、契約書等の写しの添付は、必要ありません。

配置予定技術者の能力

工事名: _____ 会社名: _____

配置予定技術者の 従事役職・氏名		〇〇技術者 〇〇 〇〇
法令 に よ る 資 格	資格名	
	取得年月日	
	登録番号	
同 種 工 事 の 施 工 実 績	工事名	
	発注機関名	
	施工場所	
	工期	
	契約金額(円)	
	受注形態	単体/JV
	従事役職	主任技術者、監理技術者等
	工事概要	
CORINS登録の 有無	有(CORINS登録番号)・無	

- 注) 1 法令による資格欄には、総合評価で評価される一級国家資格又は技術士の資格について記載してください。
 2 資格者証の写しの添付は、必要ありません。
 3 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施工実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。
 FAX:076-431-7665
 4 簡易型Bの場合、「同種工事の施工実績」については、記入する必要はありません。
 5 申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について提出を認めます。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点します。
 6 低入札に伴う担当技術者(追加配置技術者)としての工事实績は、対象外とします。

(宛先)富山市長

住 所
商号又は名称
代表者職氏名

下記工事の技術提案資料を提出します。なお、添付の資料の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

工 事 番 号 :

工 事 名 :